

薬剤師在宅医療参加推進技術研修事業

薬局薬剤師を対象に、訪問薬剤指導の際に必要なバイタルサインの取得や調剤における無菌操作等の技術力の習得を目的とした研修会を開催する。

＜事業目標＞在宅患者調剤加算届出薬局数

88薬局(H26.8現在) → 140薬局(H27年度末)

H26年度

○研修事業検討会を開催し、研修カリキュラム等を検討

・検討会メンバー＝県薬剤師会、岐阜薬科大学 等

○研修に必要な器材を購入

・フィジカルアセスメント・モデル(シミュレーター) 3式

・HbA1c測定器 5台



H27年度

○研修会の開催(県薬剤師会へ委託)

(研修内容の想定)

・時間数＝ 12時間(4回)

・定員＝ 30名

・カリキュラム＝ フィジカルアセスメントモデルを使用した講義・実技 9時間(3回)
無菌調剤に関する講義・実技 3時間(1回)

・会場＝ 岐阜薬科大学

※H27年度は、上記研修を2サイクル(定員合計:60名)を実施する。

平成27年度 薬剤師在宅医療参加推進技術研修事業

7月

研修カリキュラム検討会

(目的)カリキュラムの事前検討及び事後評価を行う。

(委員)5名;岐阜薬大2名、医師1名、
県薬剤師会2名

第1回会議＝カリキュラム(内容、講師等)を検討

研修会指導者研修

- ・研修会スタッフに日本在宅薬学会主催のバイタルサイン講習会を事前に受講いただき、研修会で、指導者的立場で講師をサポートいただく。
- ・6名(県薬剤師会の担当委員、岐阜薬大の教員・学生等を想定)

9月

薬剤師在宅医療参加推進技術研修会

(目的)薬局薬剤師の在宅医療への参加を促進するため、バイタルサインの取得や無菌調剤の操作技術等に関する研修会を開催し、より実践的な技術力の取得を目指す。

(内容)4回コース×2サイクル ※次の内容を想定、詳細は検討会で検討する。

1日目 フィジカルアセスメントの基本(講義、実技)

2日目 循環器系のフィジカルアセスメント(講義、実技)

3日目 呼吸器系のフィジカルアセスメント(講義、実技)

4日目 無菌製剤処理(講義、実技)

(講師)岐阜薬大教員、病院の医師 (会場)岐阜薬大 (参加者)1コースあたり30名

2月

3月

研修会カリキュラム検討会

第2回会議＝結果の評価・課題整理

→研修内容の見直しの検討

【研修用器材の必要数量】

- ①血圧計 15台(2人1組)
- ②パルスオキシメーター 30台(1人1台)
- ③ペンライト 30台(1人1台)
- ④聴診器 30台(1人1台)